

18年新課程セ試情報

18年セ試は、1/21(土)9:30、公民から開始。

リスニングテストは第1日最終コマ(17:40~)に!

リスニングテスト実施や受験生への負担軽減から、セ試時間割大幅変更

旺文社 教育情報センター

17年5月

新課程入試初年度となる18年センター試験の実施要項がこのほど発表された。試験は17年より6日遅い1月21(土)・22(日)日の2日間にわたり実施される。リスニングテストの新規実施や、受験生への負担軽減などから、時間割が大幅に変更された。

ここでは、変更された時間割を中心に速報し、詳細については小社の『螢雪時代』7月号(6月14日刊)をご覧ください。

18年センター試験時間割

試験日	試験教科・科目		試験時間
第1日 (1月21日)	公民	「現代社会」「倫理」「政治・経済」	9:30~10:30
	地理歴史	「世界史A」「世界史B」「日本史A」「日本史B」 「地理A」「地理B」	11:15~12:15
	国語	『国語』	13:30~14:50
	外国語	『英語』『ドイツ語』『フランス語』『中国語』『韓国語』	【筆記】 15:35~16:55 【リスニング】『英語のみ』 17:40~18:40
第2日 (1月22日)	理科	「理科総合B」「生物」「*総合理科」「*生物A」	9:30~10:30
	数学	「数学」「数学・数学A」	11:15~12:15
	数学	「数学」「数学・数学B」「工業数理基礎」 『簿記・会計』『情報関係基礎』	13:30~14:30
	理科	「理科総合A」「化学」「*化学A」	15:15~16:15
	理科	「物理」「地学」「*物理A」「*地学A」	17:00~18:00

注) 1. 『』内記載のものは、2つの科目を統合したものまたは2つ以上の科目に共通する内容を盛り込んだ出題科目。

2. 『国語』は、「近代以降の文章」(2問、100点)、古典(古文<1問50点>、漢文<1問50点>)とする。

ポイント

リスニングテスト:

- ・問題冊子、解答用紙、ICプレーヤー、イヤホン、音声メモリー(音声問題)が配付され、監督者の指示により受験者がICプレーヤーを操作して試験を実施する。
- ・音声問題を用いて30分間で解答を行うが、解答開始前に受験者に配付したICプレーヤーの作動確認・音量調節を受験者本人が行うため、試験時間は60分となる。

- ・英語の受験者は、筆記試験とリスニングテストの双方を解答する。英語以外の外国語の筆記試験を受験した場合、リスニングテストの受験は認められない。
- ・「機器の故障」または「監督者の指示」により受験が中断された者については、別の IC プレーヤーによる「再テスト」で対応される。

「再テスト」では、試験当日に本試験と同一の問題により、トラブルが発生した以降の設問のみを解答する。

旧課程履修者に対する経過措置：

- ・18年センター試験においては、新課程と旧課程の共通の範囲から出題することを基本とするが、共通範囲からの出題ではセンター試験の目的が十分達成できないおそれがある出題科目については、次のような経過措置が講じられる。

- ・科目単位での経過措置；

前記時間割の表中、*印の旧課程5科目は科目単位で経過措置がとられ、従来どおり出題される。ただし、新課程履修者は選択できない。

- ・対応問題での経過措置；

前記時間割の表中、下線を付した新課程4科目は対応問題での経過措置となる。新課程固有の範囲の出題に対しては、旧課程の範囲から出題するなどの措置を講ずる。その場合、新課程履修者は旧課程の範囲の問題は選択できない。

得点調整：

次の各科目間で、原則として20点以上の平均点差が生じ、これが試験問題の難易差に基づくと認められた場合は、得点調整が行われる。

- ・地理歴史 = 世界史B、日本史B、地理Bの間
- ・公民 = 現代社会、倫理、政治・経済の間
- ・理科 = 物理、化学、生物、地学の間

検定料：

2,000円アップ。(3教科以上受験は18,000円、2教科以下受験は12,000円)

出願期間：

17年10月3日(月)～14日(金)まで。

成績の本人開示：

- ・成績開示希望者は、手数料800円を検定料と併せて納付する。
- ・成績開示は、18年4月16日(日)以降。